

第3節 歴史・文化環境

市内には、「本居宣長記念館」「はにわ館」「小津安二郎青春館」など独自の文化を発信する施設が整備されています。この節では、これらの施設や歴史・文化遺産、町並みの整備について尋ねました。

1. 歴史・文化と町並み

周辺的环境についての質問で、「誇りとなる歴史・文化が大切にされている」「市の祭りは毎年盛り上がるので楽しみだ」「市の歴史・文化施設の展示物は充実している」では、現状評価・満足度ともに50%以上と高い結果となりました。それに対し、「町並みに歴史的な雰囲気がある」という項目は、他の項目に比べ、現状評価・満足度ともに低い結果となりました。

町並みに関する項目の「町並みが美しい」「町並みにゆとりがある」「町並みに清潔さがある」では、いずれの項目においても、歴史・文化に関する項目と比べ現状評価・満足度ともに低い結果となりました(図13参照)。

2. 環境に関わる資源としての歴史・文化環境

「未来に残すべき特色のある環境に関わる資源とは何ですか」という問いに対して、「歴史・文化遺産」を挙げた人は、「豊かな水資源」に次いで多く、「松阪五大祭」も「歴史・文化遺産」に次いで多い結果となりました。

一方、「歴史ある町並み」を選んだ人は、他の歴史・文化に関する項目に比べて少ない結果となりました(図14参照)。

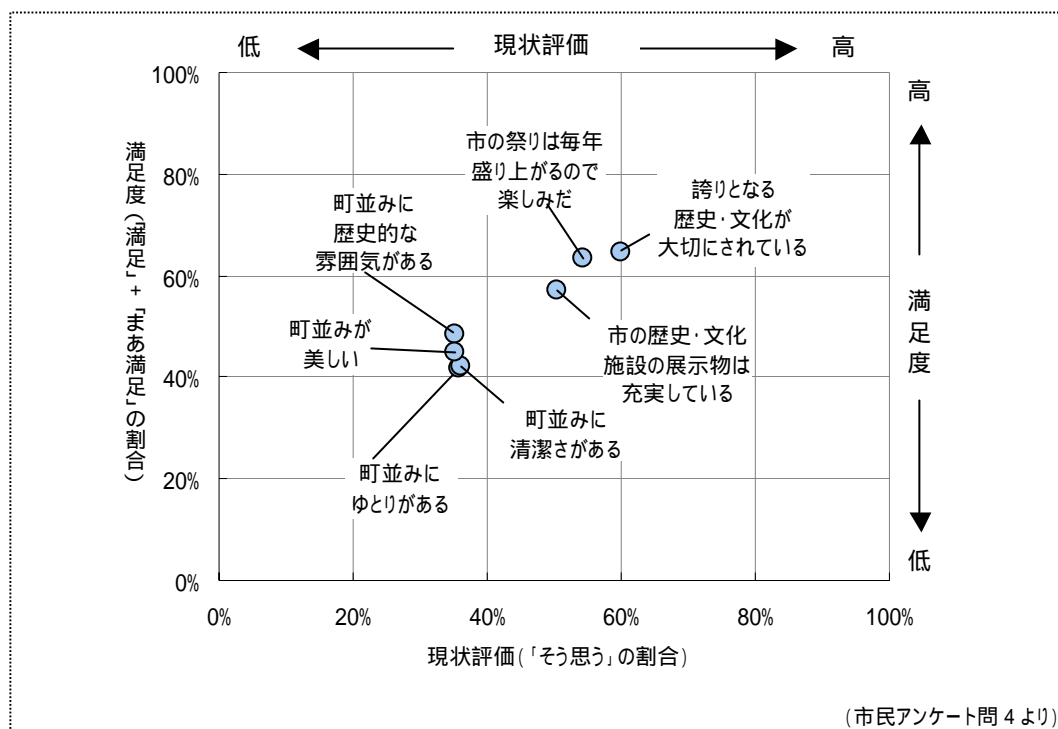


図13 歴史・文化と町並みについての現状評価と満足度

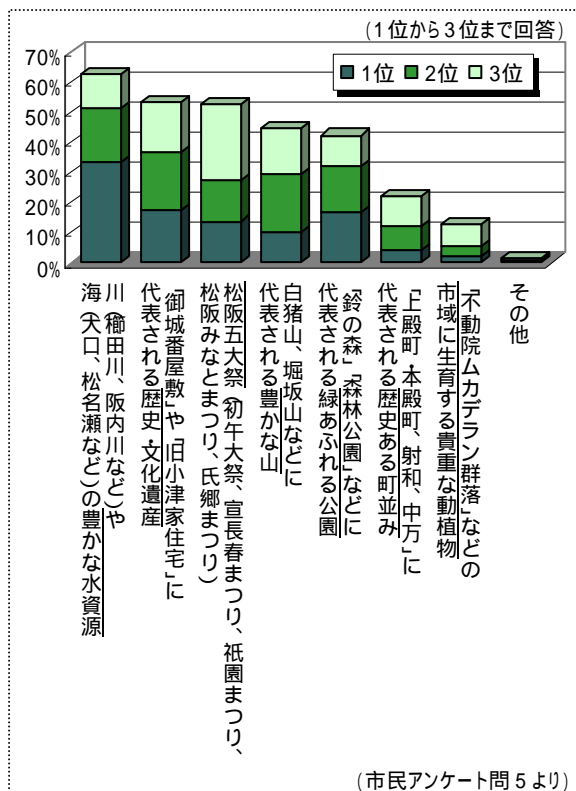


図 14 未来に残すべき特色のある松阪市の環境に関わる資源

一方、町並みに関しては、いずれの項目においても現状評価・満足度ともに低く、「上殿町、本殿町」などの歴史的な雰囲気を感じる町並みが、「御城番屋敷」や「旧小津家住宅」に代表される歴史・文化遺産ほど評価されていない傾向があることもわかりました。

歴史・文化環境をさらに充実したものにするためには、従来評価されてきた「歴史・文化遺産」と、今後取り組むべき課題である「町並み」の整備をいかに結びつけていくかが鍵になるといえます。

キーワード

- 歴史・文化遺産
- 松阪五大祭
- 歴史ある町並み

まとめ

江戸時代には、松阪商人が江戸・京都を中心に活躍し、国学者「本居宣長」をはじめ多くの文人墨客を輩出するなど、松阪市には、独自の個性ある文化が息づいています。

市民は、当市の歴史・文化に関して、現状評価・満足度とも高い評価をしています。さらに、未来に残すべき特色のある環境資源として「歴史・文化遺産」「松阪五大祭」を挙げる市民が多いということも、これらの歴史・文化を自分たちの誇りとして引き継いでいくべきものと捉えているあらわれであると考えます。